

タマネギ

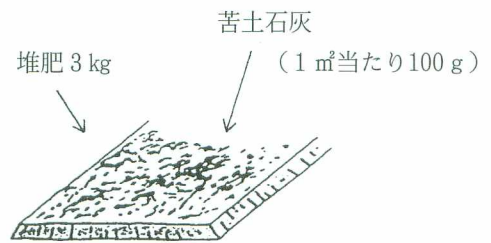
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培									○	◎		

苗床の準備

畑づくり

たねをまく所に2週間前に苦土石灰や堆肥を施し、よくすきこんでおきます。

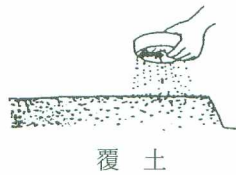
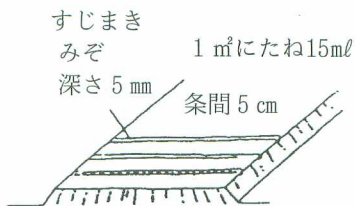
苗床は植えつけるほ場 10 a 当たりに 40㎡ の苗床を準備します。



たねまき

苗床の前面に石灰をごく薄く振ります。これにより、たねが見やすくなります。まき方は、すじまきとばらまきの方法があります。すじまきはあとの管理が楽です。ばらまきはたねまきの能率があがります。

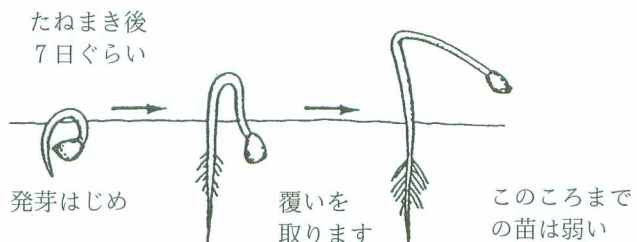
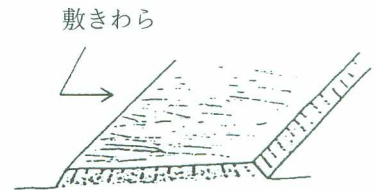
覆土



たねまき後、ふるった畑土と砕いた完熟堆肥などを混ぜてからふるいを使ってかけます。もみがらくん炭でもよいです。覆土後、十分にかん水を行い、土の乾燥を防ぐためにわらか新聞紙で覆います。白寒冷紗でトンネルをすると、台風対策も兼ねられます。

間引き

発芽直後は乾燥に弱いので、かん水をこまめにします。本葉2枚のところに2~3cm間隔に間引きを行い、その後土入れをして苗の倒伏を防ぎます。



植えつけ

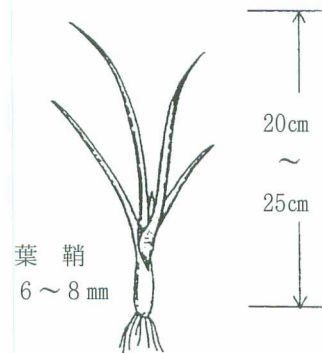
たねまき後、60～70日頃の苗を植えます。

草丈 20～25cm、根もとの太さがエンピツよりやや細いぐらいの苗で、葉がまっすぐ伸びて、根が白くて良く伸びている苗を植えます。

植えつけ前日に十分かん水を行い、根を切らないように、また根を乾燥させないように注意します。

深植えにならないように、深さ 2 cm ぐらいに植えつけます。

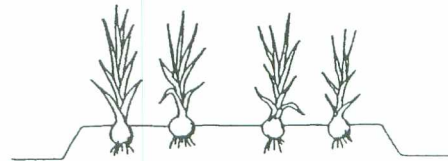
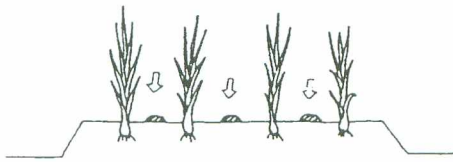
株間 10～13cm、条間 30cm の 2 条植えします。



追肥と中耕・土入れ

追肥は条間に施しますが、施用後中耕して土入れをします。最後の追肥は収穫の 2 ヶ月前には終わるようにします。

追肥は条間にします



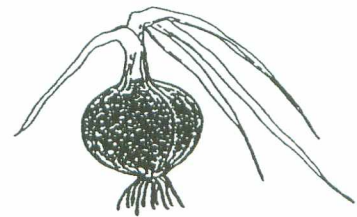
球が肥大するためには、多くの葉が必要です。

収穫・貯蔵

収穫時に、タマネギの球に傷をつけないように注意します。

早どり用は茎が倒れる前に収穫しますが、貯蔵用は茎葉が 80% 程度倒伏した頃に収穫します。

貯蔵用は、3～5 日間晴天が続いた後に抜き取り、半日～1 日うねの上で乾燥させてから、風通しのよい日陰に吊して貯蔵します。



コメント

やさしい園芸セミナー 図解 野菜 佐藤 文夫 農業図書株式会社

ユリ科の植物で、原産地は西部アジアです。

生タマネギのピリッとした辛みは硫化アリルの臭いです。これは、ビタミン B₁ の吸収をよくします。